



2024年5月8日

各 位

会 社 名 佐藤商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 野澤 哲夫
 (コード番号 8065 東証プライム市場)
 問合せ先 統括部長兼経営管理部長 阿久津 勝広
 (電話番号 03-5218-5314)

第三次中期経営計画（2023年度～2025年度）の進捗に関するお知らせ

当社グループが2023年5月9日に発表した第三次中期経営計画（2023年度～2025年度）の進捗について、下記のとおりお知らせします。

1. 第三次中期経営計画（2023年度～2025年度）の業績目標に関する進捗状況について

第三次中期経営計画では、「3つのSINKA 『進化』 Evolution 『深化』 Deepening 『新化』 New challenge」を掲げており、多様化する環境に対応しながら、持続的な成長の実現に向けて、安定した収益基盤を強化するという方針で、各重点課題に取り組んでおります。初年度にあたる2023年度につきましては、アフターコロナにおける経済回復がみられる中、引き続き原材料の高騰や金融資本市場の変動など、依然として不透明な状況が続いておりますが、製造業の生産活動の回復が進んだことや、国内の雇用情勢及び所得環境が改善したことによる個人消費の増加などから、底堅く推移しました。当社グループが作成した「中計最終年度の業績目標」に対する進捗については、下表のとおりとなっております。

(連結)

(単位：百万円)

期間	2022年度 (前期)	2023年度 (当期)	伸び率 前年比	2025年度 (中計最終年度)	進捗率 2023年度
	実績	実績		中計業績目標	
連結売上高	275,006	273,975	-0.4%	290,000	94.5%
連結営業利益	6,136	6,479	5.6%	6,800	95.3%
ROIC	5.2%	5.5%	-	5.0%以上	-

2. 各経営目標の進捗状況について

(1) 海外売上高及び同比率

(連結)

(単位：百万円)

期間	2022年度 (前期)	2023年度 (当期)	伸び率 前年比	2025年度 (中計最終年度)	進捗率 2023年度
	実績	実績		中計業績目標	
連結海外売上高	45,944	46,896	2.1%	58,000	80.9%
同比率	16.7%	17.1%	2.4%	20.0%以上	85.5%

(2) 中長期的な成長投資

【単位：百万円】

【単位：百万円】

投資区分	総投資額 3年間合計 (目標)	投資区分	投資内容	既投資額 中期1年目 (実績)	第三次中計期間		
					2023年度	2024年度	2025年度
					(中計1年目)	(中計2年目)	(中計3年目)
拠点/設備	9,000	※1	鉄鋼部2課浦安新倉庫土地等	2,667	▶		
			富士自動車興業(株)厚木工場建物等	1,118	▶		
			上記以外の投資額	552	▶		
			小計	4,337	▶		
IT投資	1,000	IT投資	基幹システム入替検討等	280	▶		
M&A等投資	3,000	M&A等投資	出資/投融資等 ※2	440	▶		
ESG投資	200	ESG投資	太陽光発電等	34	▶		
総合計	13,200	総合計		5,091	▶		
				3カ年累計目標額に対する現在までの進捗率	38.6%		

※1 上記の「拠点/設備」は、適時開示済の主要な案件における実績額のみを個別に記載しております。

※2 上記の「M&A等投資」は、契約ベースでの実績額を表示しております。

(3) 配当について

(配当方針)

継続的な安定配当として、連結みなし当期利益※の30%以上、かつ下限は1株あたり年間55円とする。

※連結みなし当期利益＝連結経常利益×(1－実効税率)

(配当状況)

単位：百万円

期間	2022年度 (前期)	2023年度 (当期)	増減	2024年度 (次期)
	実績	実績		配当予想
年間_1株配当額	67円	73円	6円	68円
配当総額 a	1,413	1,538	125	1,430
配当性向	22.8%	23.8%	1.0%	26.8%
連結みなし当期利益 b	4,661	5,059	398	4,752
(a/b)	30.3%	30.4%	0.1%	30.1%

(4) その他

その他の重点課題に関する取り組み状況については、別紙の「第三次中期経営計画_2023年度進捗状況」をご参照ください。

(注) 上記の業績目標等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により目標数値と異なる場合があります。

以上



SATOSHOJI

第三次中期経営計画 (2023年度～2025年度) 2023年度進捗状況

佐藤商事株式会社

東証プライム コード8065

1.業績目標・ROIC・海外売上高

(1)業績目標 (前期実績 対比)

◆初年度24/3月期の連結業績は、前年対比売上高▲0.4%の減、営業利益は+5.6%の増となった。なお、中計最終年度に対する進捗率は、売上94%、営業利益95%となっている。

23/3月期(前期実績)

売上高 2,750億円
営業利益 61億円

対 前期実績
(伸び率)

24/3月期 連結実績

売上高 2,739億円 (▲0.4%)
営業利益 64億円 (+5.6%)

(TOPIX)
・商用車等の減産影響
・海外案件の利率向上

(中計最終年度目標 対比)

第三次中計最終年度の
連結業績目標(26/3月期)

売上高 2,900億円
営業利益 68億円

対 最終年度
目標
(進捗率)

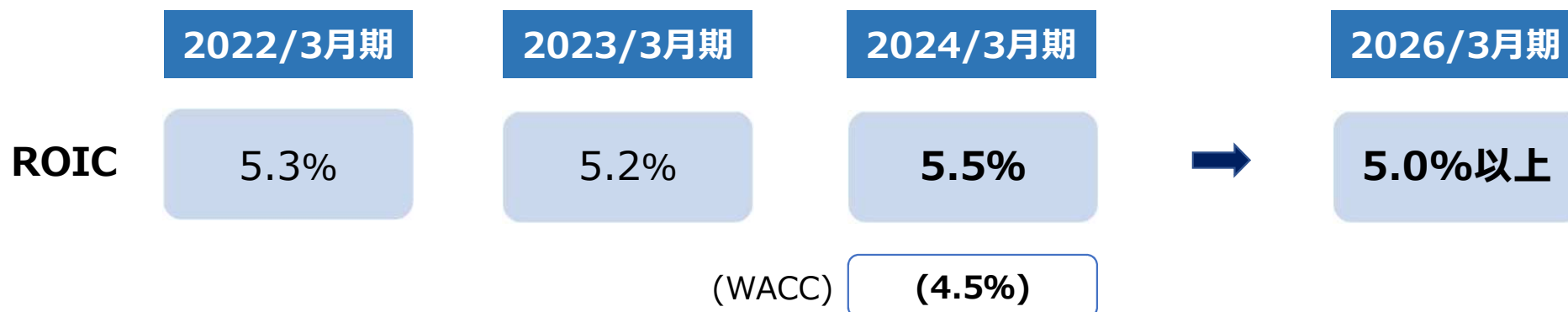
24/3月期 連結実績

売上高 2,739億円 (94%)
営業利益 64億円 (95%)

1.業績目標・ROIC・海外売上高

(2) ROIC 最終年度目標：5.0%以上

◆初年度24/3月期のROICは、5.5%となり、最終年度目標の5.0%以上を維持している。



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一環として取り組んでいる

1.業績目標・ROIC・海外売上高

(3) 最終年度目標 海外売上高：580億円 海外売上高比率：20%以上

◆初年度24/3月期の海外売上高は468.9億円となり、同比率は17.1%となった。
それぞれの最終年度目標に対する進捗率は、**80.9%**、**85.5%**となっている。

【連結海外売上高】

(単位：百万円)

期	22/3月期 実績	23/3月期 実績	24/3月期 実績
海外売上高	40,214	45,944	46,896

【連結海外売上高比率】

(単位：%)

期	22/3月期 実績	23/3月期 実績	24/3月期 実績
同比率	17.0%	16.7%	17.1%

最終年度目標の進捗率 **80.9%**

最終年度目標の進捗率 **85.5%**

2. 資本政策の進捗状況

(1) 中長期的な成長投資 「3カ年合計の投資額目標」130億円以上

◆初年度24/3月期の投資額は50.9億円となった。3カ年合計の投資額目標130億円以上に対する現在までの進捗率は38.6%となっている。

【単位：百万円】

【単位：百万円】

投資区分	総投資額 3年間合計 (目標)	投資区分	投資内容	既投資額 中期1年目 (実績)	第三次中計期間			
					2023年度 (中計1年目)	2024年度 (中計2年目)	2025年度 (中計3年目)	
拠点/設備	9,000	拠点/設備 ※1	鉄鋼部2課浦安新倉庫土地等	2,667	▶			
			富士自動車興業(株)厚木工場建物等	1,118	▶			
			上記以外の投資額	552	▶			
			小計	4,337	▶			
IT投資	1,000	IT投資	基幹システム入替検討等	280	▶			
M&A等投資	3,000	M&A等投資	出資/投融資等 ※2	440	▶			
ESG投資	200	ESG投資	太陽光発電等	34	▶			
総合計	13,200	総合計		5,091	▶			
				3カ年累計目標額に対する現在までの進捗率	38.6%			

※1 上記の「拠点/設備」は、適時開示済の主要な案件における実績額のみを個別に記載しております。

※2 上記の「M&A等投資」は、契約ベースでの実績額を表示しております。

2. 資本政策の進捗状況

(2) 配当の状況

◆初年度24/3月期は1株あたり73円となり連結みなし当期利益の30%以上となっている。
なお、25/3月期の配当予想は1株あたり68円を予定している。

●配当方針

継続的な安定配当として、連結みなし当期利益※の30%以上、かつ下限は1株あたり年間55円とする。

※連結みなし当期利益 = 連結経常利益 × (1 - 実効税率)

(単位：百万円)

項目名	23/3月期 実績	24/3月期 実績	25/3月期 (予想)
1株あたりの配当金	67円	73円	68円
配当総額 a	1,413	1,538	1,430
配当性向	22.8%	23.8%	26.8%
連結純利益	6,194	6,478	5,350
連結みなし当期利益 b	4,661	5,059	4,752
(a/b)	30.3%	30.4%	30.1%

2. 資本政策の進捗状況

(3) 人的資本の活用と投資（人材育成の強化）

（活動方針）

人材育成

- ・職種別/世代別教育の充実化（各種専門知識の習得の推進）
- ・海外トレーニー制度の強化（海外事業活動の推進）



（初年度24/3月期の活動による進捗状況）

（職種別/世代別教育の充実化）

- ・24/3月期実績 教育/研修費用 6百万円 前年比+31%
- ・25/3月期予定 教育/研修費用 7~8百万円 前年比+20%以上

（海外トレーニー制度の強化）

- ・24/3月期実績 タイ/インドネシア赴任2名 16百万円 通年換算1名
- ・25/3月期予定 24/4月よりタイ赴任1名増 32百万円 通年換算2名

2. 資本政策の進捗状況

(4) 人的資本の活用と投資（労働環境の更なる改善）

（活動方針）

労働環境
改善

- ・柔軟な働き方に対応した労働環境の整備（在宅勤務・育休取得等）
- ・従業員の健康/安全に関する意識向上（健康/安全維持費の増強）



（初年度24/3月期の活動による進捗状況）

（柔軟な働き方に対応した労働環境の整備）

- ・育児休暇新規取得者 6名（男性2名 女性4名） 前年比 同等
- ・勤怠システムの高度化により在宅勤務の推奨 導入費用3.3百万円

（従業員の健康/安全に関する意識向上）

- ・従業員に対する会社補助を支給

人間ドック補助	236名	4.6百万円
ワクチン補助	125名	0.5百万円
- ・工場事故に対する業務傷害付保加入 2.5百万円

2. 資本政策の進捗状況

(5) 人的資本の活用と投資（多様な人材活用）

（活動方針）

多様性
流動性

- ・国内外グループ全体における新卒/中途採用活動の促進
- ・女性管理職の活躍を見据えたカリキュラムの実行



（初年度24/3月期の活動による進捗状況）

（国内外グループ全体における新卒/中途採用活動の促進）

- ・24/3月期 新卒総合職 12名 前年比 +1名
中途総合職 1名 前年比 ▲4名
- ・新卒採用チーム新設による体制強化

（女性管理職の活躍を見据えたカリキュラムの実行）

- ・管理職候補として一般職から地域総合職への転換者数 女性2名

3. 脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた活動推進

◆初年度24/3月期の取り組み状況は以下のとおりであり、今後も具体的な活動を数値で示しながら推進する。

重要なテーマ		具体的な取り組み	取り組みの進捗状況
低炭素社会への移行	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電等の再生可能エネルギーを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システムの増設（岡山鋼材センター）（初年度） 富士自動車興業/滋賀支店新設時の設置（次年度以降） 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システム新設 24/3月期実績 富士自動車興業 34百万円 24/5月 予定 岡山鋼材センター 23百万円 25/2月 予定 滋賀支店 23百万円
	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商材の販売を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システム関係商材の販売体制を構築 LED電球/バイオマスボイラー等の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度実績 LED電球 416百万円 太陽光設備 33百万円 OSクール等 434百万円 合計 883百万円
当社グループにおける全社エネルギー消費量の削減	第三次中計期間における設定目標 2010年度比 ▲40% 2022年度比 ▲10%	 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度実績 2010年度比 ▲47% 2022年度比 ▲13%